

最先端の急性期医療の提供と双方向の医療連携をめざして

地域医療連携だより

vol.18
2020.12

新世代の320列CT導入

2021年1月から320列CTが稼働します。
64列に比べ320列CTは「センサー（検出器）
が広範囲」「撮影が瞬時」のが特徴です。

それにくわえて、今回当院が導入したCTの
特長は、AI（人工知能技術）の深層学習の応用
にあります。AIにより「低被ばくで高画質」を
実現しています。



AIで被ばく量を低減しつつも高精細

放射線科 主任部長 新田 哲久

—被ばく量や造影剤量を低減 しかも高精細

ディープラーニング（深層学習）を応用した画像再構成技術（AiCE：エース）を用いており、空間分解能を維持したままノイズを軽減できます。

被ばく量や造影剤量が低減されつつ、今まで以上の高精細な画質を得られます。

繰り返しCTを受ける患者さんや小児患者さんに被ばく量低減は大きなメリットです。

—多血性がんの検出能の向上や物質弁別解析

新たなDual Energy撮影で、X線のエネルギー画像を任意に変化させることができ、多血性がんの検出能の向上や物質弁別解析を新たに加えることで診断の確信度向上が期待できます。

—静脈注射のみで心臓も脳も

AiCEを4D検査（3D+時間軸）に活用すれば、静脈注射のみでAngioライクな（血管造影カテーテル撮影のような）画像が得られます。

これまで入院を伴うカテーテルが主流だった心臓や脳の検査にも、外来受診での精密検査の可能性が広がりました。

320列エリアディテクターCT

- 静止、息止めができない患者さんに対応（撮影時間 最短 0.27秒）
- 静脈注射でアンギオのような4D画像撮影可能
- ディープラーニング再構成（AiCE）により、腫瘍の隣接組織への広がりや炎症の診断に使用可能
- 心筋情報も得られるため、心筋や弁の動きの撮影が可能（心臓）
- 4D画像により、腫瘍の浸潤／癒着や気腫性病変の把握が可能（胸部）
- （腹部サブトラクション）造影成分を描出させることによる腫瘍や血管病変の診断（腹部）

従来からの2管球マルチスライス64列CTと有効に使い分け、検査依頼へのより迅速な診断をめざします。



社会医療法人岡本病院(財団)

京都岡本記念病院 地域医療連携室

TEL 0774-46-5981 (直通)

FAX 0774-46-7835 (直通)

京都岡本記念病院 放射線科

当科は現在、常勤医 3 名体制で、日本医学放射線学会が認定する放射線診断専門医 2 名と放射線科専門医 1 名で、正確な診断と迅速な報告を心掛けております。

近年特に注目されている被ばく問題に関する X 線や透視、CT 等、放射線を用いる画像診断装置において被ばく低減に努めており、今回の CT 導入もその一助となります。

検査内容にご不明な点がございましたら遠慮なく当科までお問い合わせください。



主任部長
新田 哲久 にった のりひさ
血管造影センター長 兼任
滋賀医科大学卒（平成 1 年）

医学博士
滋賀医科大学 非常勤講師
日本医学放射線学会認定放射線診断専門医
日本消化器内視鏡学会認定専門医
日本 IVR 学会認定専門医 / 代議員
臨床研修指導医



部長
外山 哲也 とやま てつや
京都府立医科大学卒（平成 8 年）

日本医学放射線学会認定放射線診断専門医
日本 IVR 学会認定 専門医
日本消化器病学会認定 専門医
日本肝臓学会認定 肝臓専門医
日本内科学会認定 内科医
日本核医学学会認定 PET 核医学認定医



医員
永野 冬樹 ながの ふゆき
山口大学卒（平成 26 年）

日本医学放射線学会認定放射線科専門医

ご予約は地域医療連携室へ

ご紹介患者さんの予約サービスを行っており、待ち時間の短縮やスムーズな受診のために、ぜひご利用ください。

患者さんご紹介のときは、お気軽に地域医療連携室へご連絡ください

地域医療連携室 **TEL** 0774-46-5981^(直通) **FAX** 0774-46-7835^(直通)



社会医療法人岡本病院(財団)

京都岡本記念病院

〒613-0034 京都府久世郡久御山町佐山西ノ口100番地

キ-002 2020.12 OK